

令和7年度第1回港区区政会議「事前意見内容と区役所の対応・考え方」

番号	部会	担当課	ご意見内容	区役所の対応・考え方
1	安心安全・まちづくり部会	協働まちづくり推進課 (安全・安心)	【令和6年度港区運営方針自己評価について】 経営課題2について ・アンケートで「災害時に地域で助け合うことができると思う」という聞き方をしているが、なぜ「思う」という設問になっているのでしょうか？経営課題3であれば、「行われている」となっていて「行われていると思う」ではないので、違和感があって確認しました。	平時ではなく、災害時を想定した設問のため、「思う」という聞き方にしています。 災害時に地域で助け合うことができるためには、日頃からの隣近所や地域の住民同士のコミュニケーションが必要であり、港区役所では、防災啓発の場で共助の重要性を説明したり、町会加入促進の取組みを進めています。
2	安心安全・まちづくり部会	協働まちづくり推進課 (エリア開発推進)	【令和6年度港区運営方針自己評価について】 経営課題5について ・区内3エリアの魅力について、具体的に何がどの様に魅力があると考えているのか？	【区内3エリアについて】 東部エリアにつきましては、JR大阪環状線とOsaka Metro中央線が接続する弁天町駅がエリアの中心にあり交通利便性が高く、また大阪ベイタワーや港区土地区画整理記念・交流会館、大阪みなと中央病院などの都市機能が集積しているなど、都市居住の持つ利便性の高さが主な魅力と考えております。今後は、市岡商業高校跡地の活用などにより、都心と湾岸をつなぐ交通結節点としての立地を最大限に活かした都市機能の強化とにぎわい・魅力の創出を図っていきたくと考えております。 中部エリアにつきましては、エリアの中心に大規模公園である八幡屋公園や中央体育館等があり、地域住民の憩いと癒しの場となっているなど、良好な住環境を形成していることが主な魅力とと考えております。今後は、八幡屋公園を中心としたエリアの魅力づくりと良好な地域コミュニティをベースとした八幡屋商店街等の活性化の取組との相乗効果により、エリア全体のリ・ブランディング※を進め、特に若い世代や子育て層が魅力を感じ定住する流れを生み出していきたいと考えております。 西部エリアにつきましては、大型クルーズ客船が寄港する大阪の海の玄関口として、令和6年5月に建替えられた天保山客船ターミナルをはじめ、海遊館や天保山マーケットプレースなど、国内外から多くの人々が訪れる大阪を代表する観光集客地である点が主な魅力とと考えております。今後は、IRや万博跡地の開発などベイエリアで展開される大規模開発等と連携した新産業の創出や子育て層に選ばれる教育環境の充実など、次世代型のまちづくりを推進することにより、訪れたいエリアとしての魅力を高めていきたいと考えております。 ※リ・ブランディング：今ある地域資源等を活かしながら、新しい時代や区民ニーズに適合したまちへと再構築することにより、魅力をさらに高めること。